

令和6年母子保健関係統計

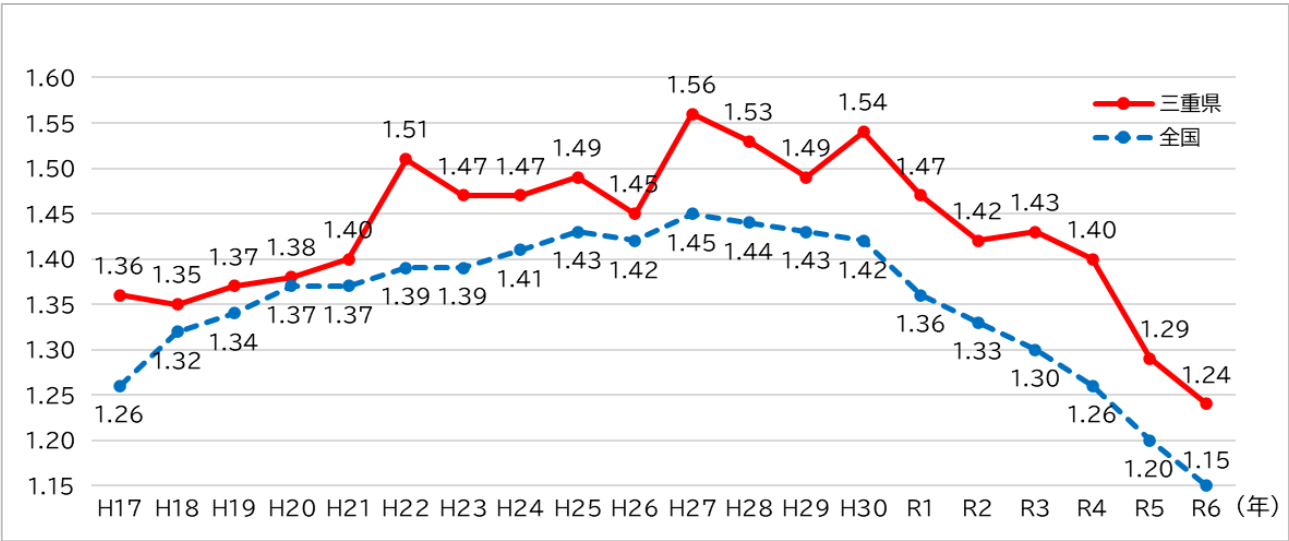
(1) 合計特殊出生率・出生率

合計特殊出生率は、「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性が一生の間に何人の子どもを産むのかを推計したものです。

三重県の令和6年の合計特殊出生率は1.24と全国平均の1.15は上回っていますが、3年連続の減少であり、過去最低の値となっています。

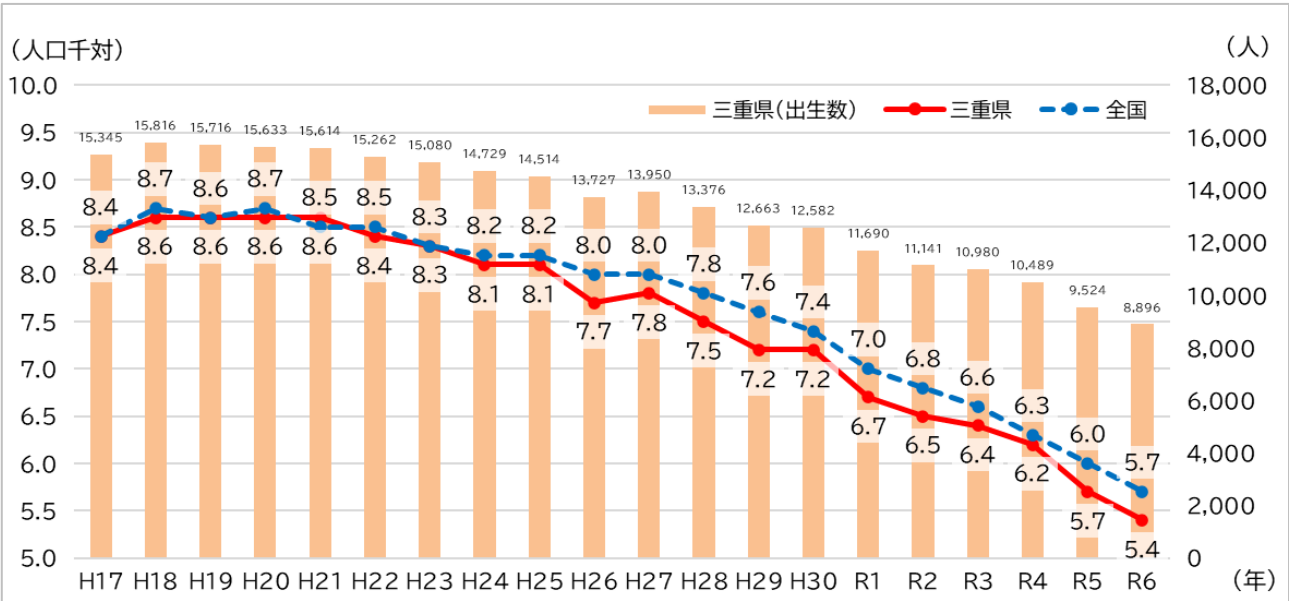
また、人口千人当たりの出生数の割合である出生率は、令和6年で5.4と、全国平均の5.7を下回っており、減少傾向が続いています。

<合計特殊出生率の推移>



出典：厚生労働省「人口動態調査」

<出生数および出生率の推移>

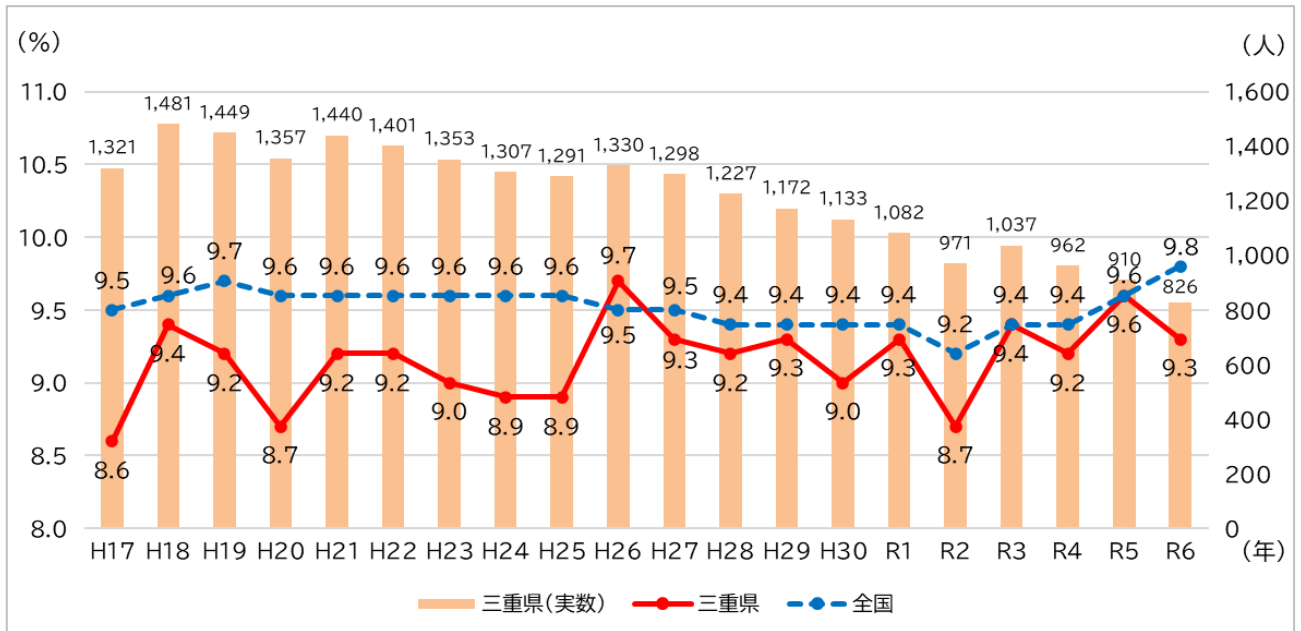


出典：厚生労働省「人口動態調査」

(2) 低出生体重児出生数及び出生割合

低出生体重児とは、出生体重が2,500グラム未満の児をいいます。すべての出生に対する低出生体重児の割合について、三重県ではおおむね全国平均より低い値で推移しており、令和6年は前年より減少して9.3%となっています。

<低出生体重児出生数及び出生割合の推移>

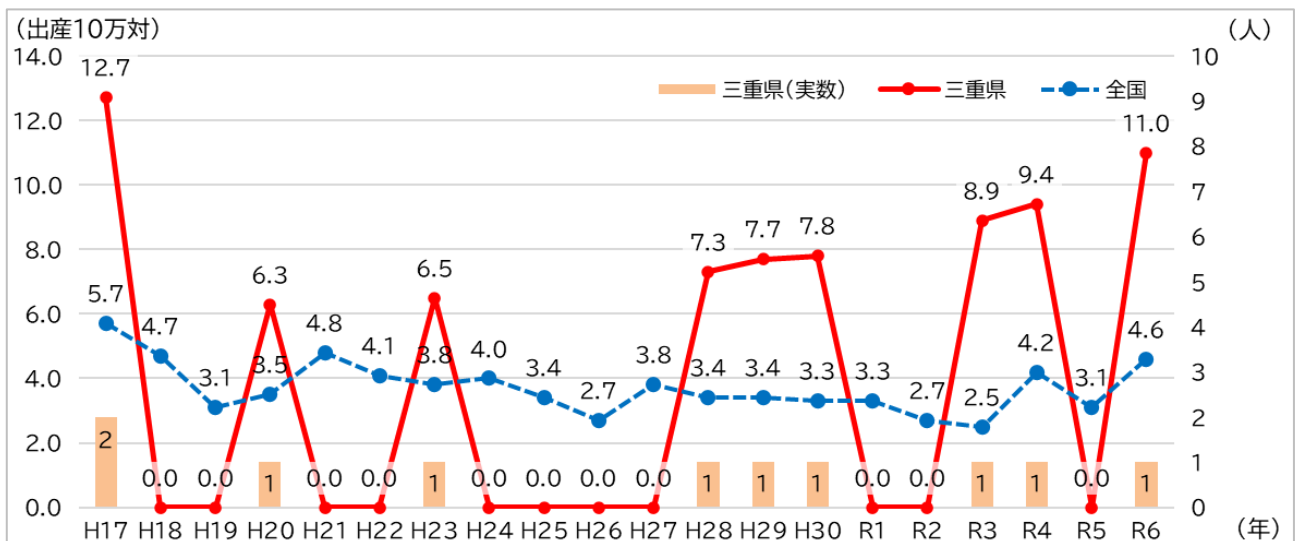


出典：厚生労働省「人口動態調査」

(3) 妊産婦死亡

妊産婦死亡とは、妊娠中または妊娠終了後満42日未満の女性の死亡で、妊娠に関連した原因によるものをいいます。三重県では令和6年に1名の死亡がありました。

<妊産婦死亡数及び死亡率の推移>



出典：厚生労働省「人口動態調査」

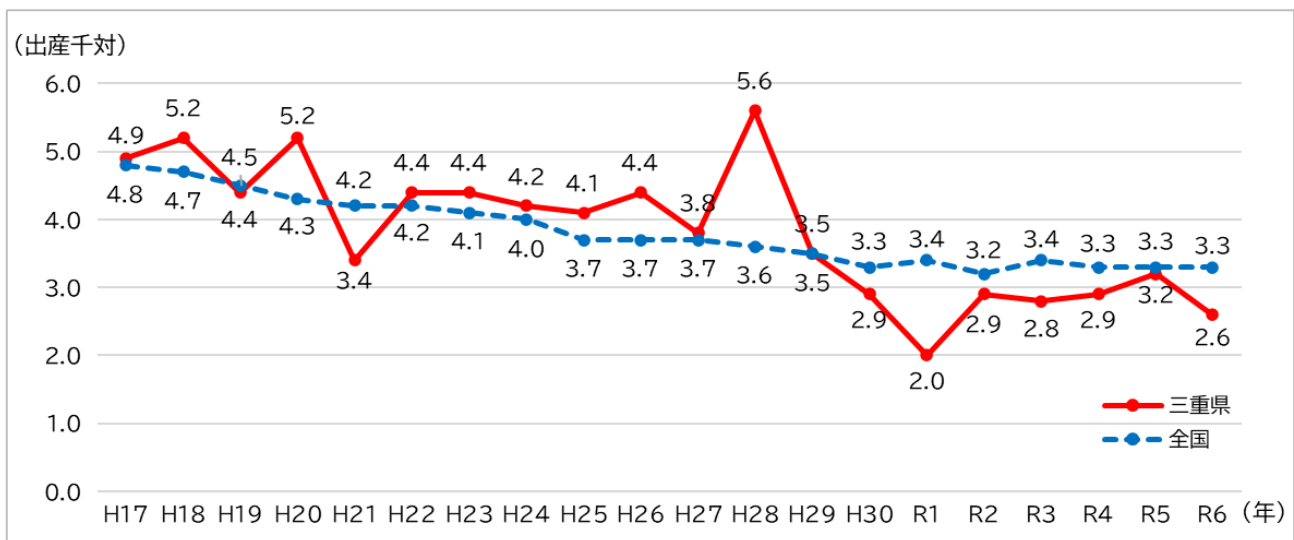
(4) 周産期死亡率・新生児死亡率・乳児死亡率・幼児（1～4歳）死亡率

周産期死亡とは、妊娠満22週以後の死産と早期新生児死亡(生後1週間未満の死亡)を合わせたものをいい、三重県の周産期死亡率は平成29年まで数年にわたり全国平均より高い水準で推移してきましたが、平成30年以降は全国平均を下回っています。

三重県の新生児死亡率および乳児死亡率は令和2年に全国平均を上回ったものの、令和3(2021)年以降は減少傾向にあり、近年は全国平均を下回る値で推移しています。

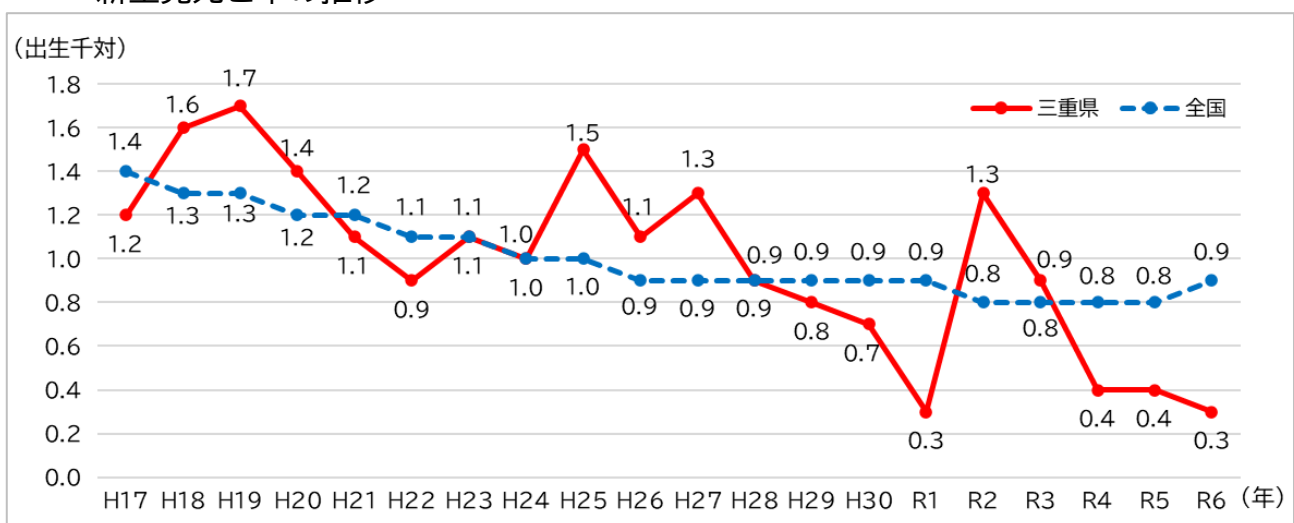
三重県の幼児(1～4歳)死亡率は、平成26年以降、全国平均を下回る値で推移してきましたが、令和5年、令和6年と2年連続で全国平均を上回っています。

<周産期死亡率の推移>



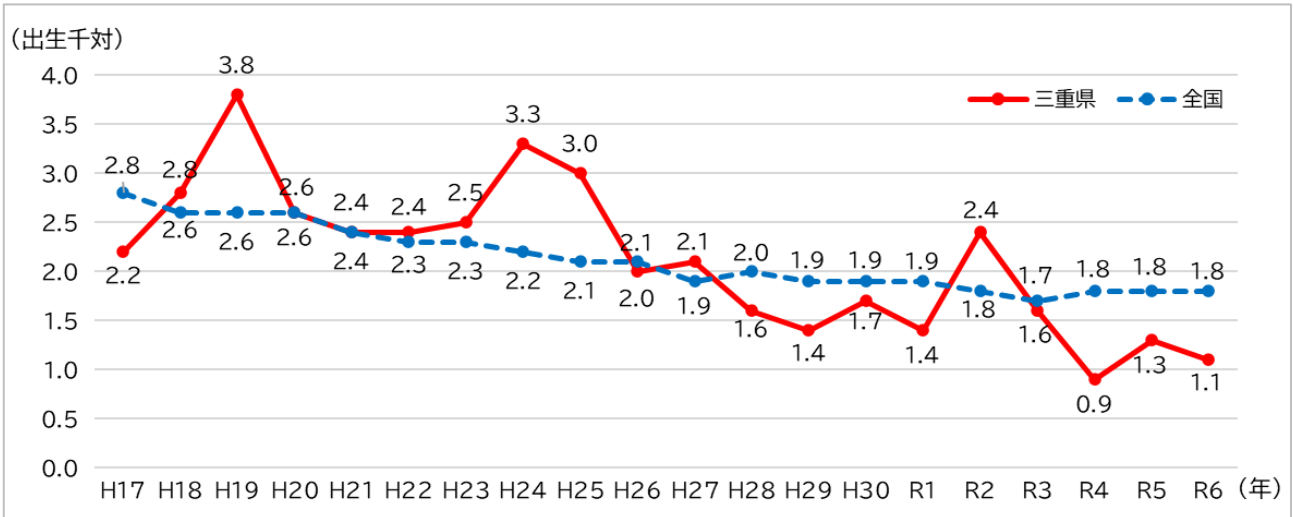
出典：厚生労働省「人口動態調査」

<新生児死亡率の推移>



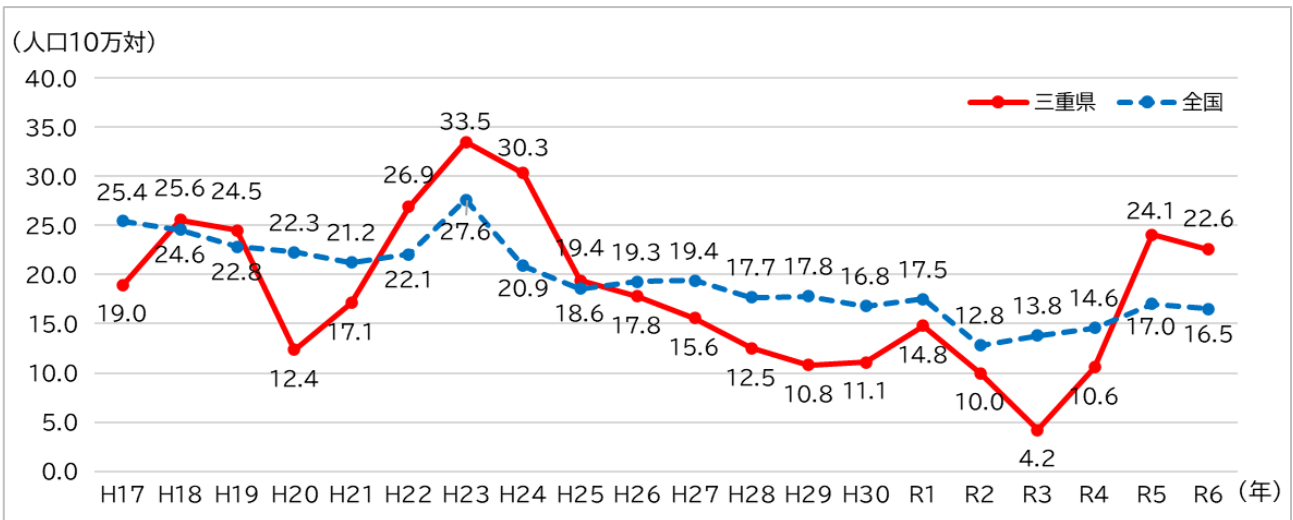
出典：厚生労働省「人口動態調査」

<乳児死亡率の推移>



出典：厚生労働省「人口動態調査」

<幼児（1～4歳）死亡率の推移>

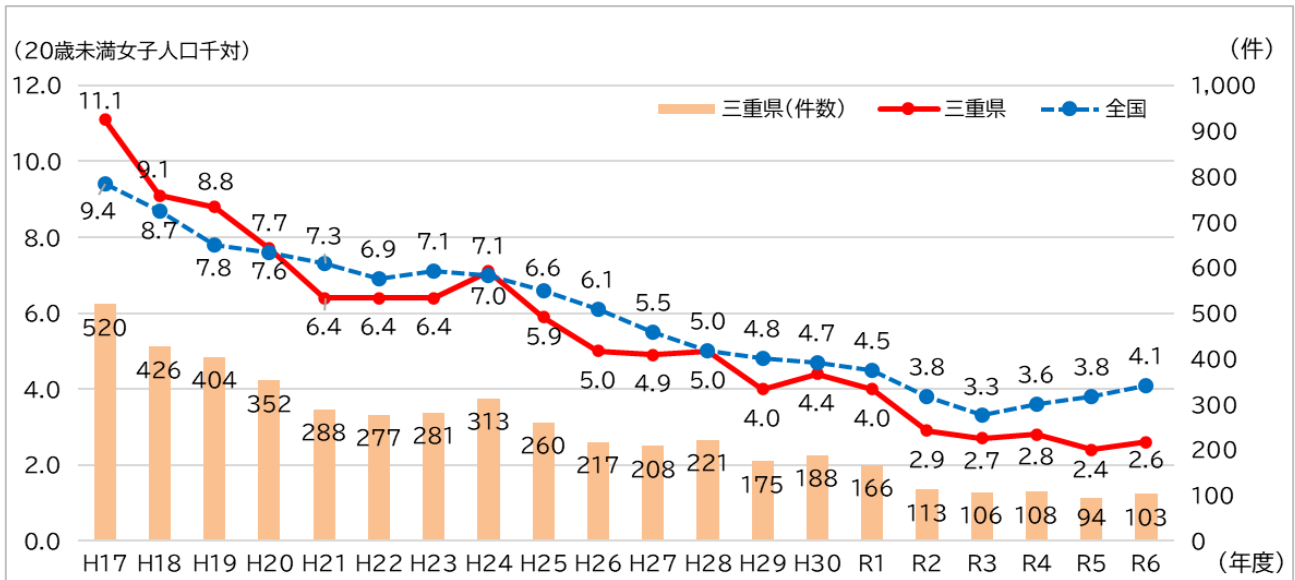


出典：厚生労働省「人口動態調査」
統計課「月別人口調査」

(5) 10代の人工妊娠中絶率

10代の人工妊娠中絶については減少傾向にありましたが、近年は100件程度で推移しています。10代の人工妊娠中絶率（20歳未満女性人口千対）は令和6年度で2.6と前年度から0.2ポイント上昇しています。

<10代の人工妊娠中絶件数及び人口妊娠中絶率の推移>



出典：厚生労働省「衛生行政報告例」